

(農林水産業のICT-N-2)

**寒冷地北海道でICT活用型ハウス栽培管理によるマンゴー栽培
(農業生産法人ファームピープル)**
<https://sites.google.com/site/mangofarmpeople/>

〔概要〕

寒冷地北海道でセ氏80℃の温泉水をビニールハウス内の熱源として利用し、ICTを活用したセンシングによる温度管理で南国の果物完熟マンゴーを栽培。

〔コラム〕

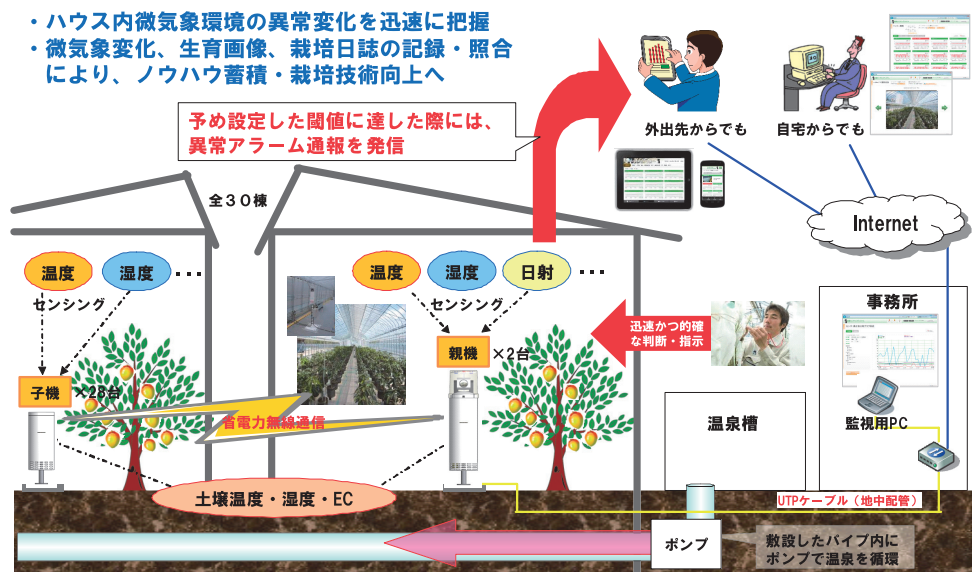
2012年釧路市内の通信工事事務所が設立した農業生産法人「ファーム・ピープル」が北海道川上郡弟子屈町で約33,000平方メートルの広大な敷地にセ氏80℃の温泉水を熱源としたビニールハウス30棟を建設した。

30棟のビニールハウス内の温度管理は、ビニールハウス内に1台ずつ設置したセンサーにより、ハウス内の微気象変化(土壌温度、ハウス内温度、湿度等)を迅速に把握するセンシングシステムを構築した。

このシステムでは、予め設定した閾値に達した場合、タブレットやスマートフォンで異常アラーム通報を受けることができるため、外出先や各ハウス棟を移動中でも迅速に適切な温度管理対応ができる。

親機のフィールドサーバー2台にはカメラが搭載されているため、宮崎県のマンゴー栽培農家から生育状況を見てもらいながら営農指導を受けている。

また、温度管理データを蓄積しながら、栽培日誌と照合することでノウハウ蓄積と栽培技術向上に活用しており、甘くておいしい「極寒完熟マンゴー 摩周湖の夕日」の安定した品質確保に活用している。



(問い合わせ先)

- ・株式会社協和エクシオ ICTソリューション事業本部 ソリューション営業本部
- ・TEL:03-5778-1086